

2025年度 第2回 一宮駅周辺地区デザイン懇談会 議事概要

1. 日時

2026年2月27日（金）10時00分～12時00分

2. 出席者

別紙のとおり

3. 議題

- (1) 銀座通りの検討状況について
- (2) 銀座通りについての意見交換
- (3) デザイン計画骨子案について
- (4) 第6回まちなかを考えるシンポジウムのプログラム案
- (5) デザイン計画骨子案及びシンポジウムについての意見交換

4. 議事概要

- ・事務局から資料に沿って議題の内容を説明した。
- ・銀座通り、デザイン計画骨子案、シンポジウムについて意見交換を行った。

5. 主な意見（抄）

[銀座通りのデザイン方針について]

- ・地下駐車場の防水工事と連携して検討を進めた方が良い。
- ・南北の日照や通行量、厳しい土中環境を考慮し、場所に応じた緑の配置を検討すべきである。
- ・空間の利活用にはソフト面のマネジメントや滞留空間との一体的な設計が不可欠である。
- ・利活用のルールや植栽などの維持管理面の費用負担など、運営体制の仕組みが必要である。
- ・外部出店に頼らず、沿道の商店がこの通りを良くしようと努力しなければいけない。
- ・歩車道境界は、利活用のしやすさと子どもの飛び出し防止等の安全面を両立させることが必要である。

[デザイン計画骨子案及びシンポジウムについて]

- ・デザイン計画は、まず前段で課題を整理し今のまちに対する危機感、怖さが伝わるようにしたほうがよい。
- ・こういった計画に満場一致で賛成となることは極めて少なく、方針として「これで進む」と示すことが重要である。
- ・シンポジウムでは、デザイン計画ではあっさり記載されている「今後の予定」について議論することが大事である。
- ・シンポジウムで利活用の主体が商店街であり、その資金をどうするかについて問題提起した

い。

- ・ 中間管理団体はせい弱で流動的なもので、運営が楽にならなければ続かない。基本的には、一軒一軒の商店が自分の目の前の公共空間を主体的に活用、管理することが重要である。
- ・ 各通りでまちに対する思いや危機感を語れる比較的若い世代にインタビューして、シンポジウム当日に映像を流すとよい。

以 上